区民そっちのけ 安倍政権の言いなり
池袋駅周辺に巨額の税金
ここが変です！ 豊島区政 その3

4月13日、豊島副都心開発調査特別委員会で「池袋駅周辺のまちづくり動向」が示されました。豊島区政史上、これだけの開発が、いっきに進められたことはありません。また23区においても行政が主導した例はありません。これらに対する税の投入額も示さず強行しようとしています。

2015年3月、豊島区は「豊島区国際アート・カルチャー都市構想」を策定し、民間と連携して文化・芸術で魅力ある都市を整備し、世界中から人や産業を惹きつけ、国際競争力を強化するとしています。

同年7月、国が池袋駅周辺を「特定都市再生緊急整備地域」に指定しました。全国で13地域が指定され、建築の規制緩和、手続期間短縮、財政支援、税制優遇等が措置される民間都市開発支援策です。その後も国際戦略総合特区等に指定されます。

2016年7月、豊島区は「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」を策定。さらに本年5月「池袋駅周辺地域基盤整備方針」を策定し、東京オリ・パラの成功等を理由に、安倍政権と一体で大企業優先のアベノミクスを進めます。

区長は財政を立て直したと言いますが、2月、私が質疑したところ、来年度から少なくとも4年間は百億超の債務超過になることを認めました。福祉や区民サービス低下に繋がる巨額の税金投入をストップするため、私は徹底的に追及しています。

日本共産党　区議会議員
森　とおる
区役所控室　3981-1429
自　　宅　6912-0135

2018年 4月24日発行